

全国協議会 ニュース

発行所
 全国骨髄バンク
 推進連絡協議会
 〒160-0005 東京都
 新宿区愛住町23-1
 Woody21-9階
 TEL.(03)3356-8217
 FAX.(03)3356-8637
 発行責任者
 渡辺 孝一
<http://www.marow.or.jp/>
 E-mail:info@marow.or.jp

郵便振替口座
 00150-4-15754
 銀行口座
 さくら銀行 新宿支店
 普通 5666655

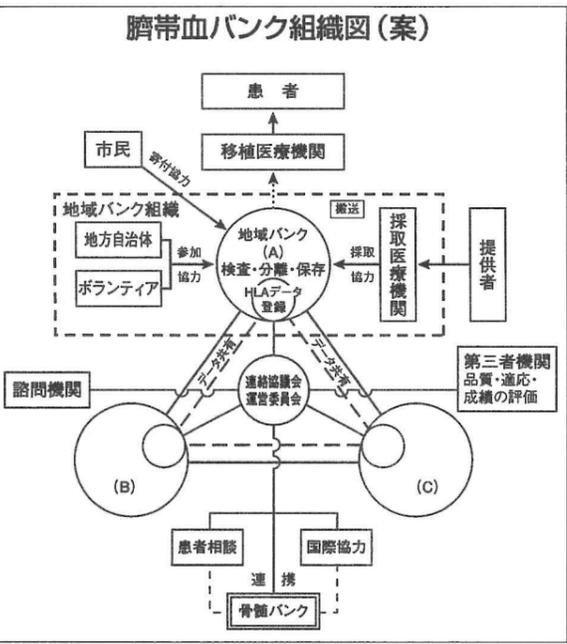
臍帯血移植検討会で陽田委員長提案

厚生省の臍帯血移植検討会は、1月19日に第1回がもたれ、3月23日までに4回の検討会が開かれていきます。検討会の委員として、全国協議会からは陽田秀夫運営委員長も参加していま

陽田委員長は、3月23日の検討会で「臍帯血バンクの組織に関する提案」を行い説明しました。陽田提案は①臍帯血バンクの組織づくり方針、②臍帯血(非血縁)需要数の予測、③臍

帯血ストック目標、④収支計画、⑤臍帯血バンク組織図、⑥組織イメージと母体組織の条件、という6項目から成り立っています。陽田提案は、いずれも骨髄バンクの反省をふまえた上で、患者救済を第一義として新たな組織のあり方を提示したものです。陽田委員長の提案は、随所に地域の独自性・自主性・競争性の導入までも盛り込んだ画期的な提案で、多くの委員や関係者の注目を集めました。また、同日は加藤俊一委員(東海大学)と西平浩一委員(神奈川こども医療センター)からも意見書が提出されました。今、検討会では臍帯血バンクのあり方をめぐり熱い議論が交わされています。

- ### 臍帯血バンクの組織づくり方針(陽田案)
1. 中央集権的でない組織(ピラミット型ではなくネットワーク型)
 2. 意思決定が民主的かつ速やかにできる組織
 3. 患者本位を最優先し、情報公開を積極的に推進できる組織
 4. 効率性を追求し、最小限の経費で運営可能な組織
 5. 自主性・独立性を高め、補助金依存を最小限とする組織
 6. クオリティとサービス面での競争性を導入する組織



5月16日 神戸で開催 98全国骨髄バンクボランティアの集い in神戸

「自然とは荒ぶる生き物である」とををしみじみ思わされた「あの年」から3年余り... ここ神戸の地で、神戸の人と共に今一度「命の重み」を見つめてみたい。」

今回のボランティア全国大会は、5月16日に神戸市で全国協議会主催(関西協会主管)で行われます。主な内容は、①映画上映「マザー・テレサとその世界」②講演「骨髄バンクとボランティア」千葉茂樹氏(映画監督)③パネ

患者負担金の現実と課題 財団に多額の未収金発覚

厚生省は3月12日付で、骨髄移植推進財団に対して初めての行政指導を行いました。内容は「公印管理規定の整備」と「未収金の整理」ですが、未収金は約3000万円にのぼることが明らかになりました。財団の未収金は患者負担金といわれているもので、コーディネート料、検査費用、ドナー傷害保険料などです。これまでの徴収方法は、すべて主治医を通して患者への請求が行われていたが、財団は請求業務や支払い確認を厳密に行ってこなかったため、未収金がこのように額にふくらんだのです。昨年11月の公開フォーラムで財団の田中常務理事は「財団は一銭たりとも無駄遣いはしていない」と述べて、財団の財政的危機を訴えましたが、現実としては財団が果たすべき業務を履行していなかったことが明らかになりました。

また、この未収金問題の背景には、日本骨髄バンクには患者コーディネートが存在せず、すべては主治医が請求業務までを担ってきたことの問題があります。さらには、日本の医療はすべてを健康保険でカバーするという方針がありながら、骨髄バンクにはコーディネート費用などの患者負担金が存在していることが問題点としてあげられます。また、財団運営予算の収入で、半分が患者負担金が占めていることもあり、その辺が根本的な問題です。

対米予備検索で不公平問題露呈 日本でも予備検索導入へ

日本骨髄バンクは日本の登録患者には実施していないHLA予備検索を全米骨髄バンク(NMDP)からの患者に対しては行っていたことが明らかになりました。日米の患者間に不公平問題が存在していたことになりました。日本骨髄バンクでは、日本の患者にも予備検索を導入することで、この不公平問題を解消することになりました。対米予備検索の事実が明らかになったのは、財団発行のマンスリーレポート(2月)に掲載された1月のアメリカからの「照会」数が異常なほどに大きいため、財団に問い合わせたところ、増加した原因として「予備検索」を実施していたことがわかったのです。日本の骨髄バンクで、日本の患者よりもアメリカからの患者に対してはより濃密なサービスが行われていた事実が明らかとなり、大きな反響を呼びました。骨髄バンクの理念として公共性・広域性とともに公平性がうたわれています。

この日米間の不公平を是正するために、一時は対米予備検索を取りやめるとの動きもありましたが、全国協議会では直ちに文書により是正を申し入れました。その回答として、日本の患者に対しては、随時、無料で予備検索を行うことを決め、4月からの開始をめざして調整を行うこととしています。不公平が存在したこと自体は大変な問題ですが、マイナスの方向ではなく、プラスの形で是正されることになりました。

福井で骨髄バンク予算不正流用発覚! 真の推進を求め、要望書を提出

国庫補助の増額を求め、全国のボランティアが署名運動を展開したばかりと言うのに地方ではこんな事がなされていたとは... 3月、50%の国庫補助からなるドナー登録推進事業費が県内各保健所にて不正流用され、登録時の医師への謝礼を装い、不正支出されていることが各社報に...



3月13日、要望書を読み上げて県に提出(写真:福井新聞)

心からのご寄付をありがとうございました

2月24日~3月23日	
阿原一良	現金 20,000円
杵淵智子	現金 2,000円
ピアノ三重奏(東京)	現金 50,000円
国際ソロプチミスト名古屋	現金 583,038円
日新火災海上保険(株)総合企画部広報グループ	現金 39,169円
鈴木純子	現金 1,340円
日比佐代子	現金 100,000円
国際ソロプチミスト瀬戸	現金 10,000円
ピアノ三重奏(千葉)	現金 150,000円
タカラクラブ	現金 500,000円
三木・三木東・三木中央ライオンズクラブ	現金 100,000円
阿部勲	現金 4,000円
全日本空輸東京空港支店客室部	現金 270,876円
ふたかみプロデューサー塾	現金 223,415円
浅野茂隆	現金 5,000円
矢部晋正	現金 5,000円
小寺良尚	現金 25,000円
◆佐藤さち子患者支援基金基金	現金 1,000円
中上清吾	現金 1,000円
◆骨髄バンク国際協力田中基金	現金 6,440円
日本ドラッグチェーンUSA研修所一同	現金 (敬称略)

活動資金の援助をお願いします
 銀行口座
 さくら銀行 新宿支店
 普通 5666655
 郵便振替口座
 00150-4-15754
 全国骨髄バンク推進連絡協議会

その疲れに、リゲインを。

肉体疲労時の栄養補給、滋養強壮に。

Regain

メーカー希望小売価格: 50ml・291円(本体価格)

同17日には県会議長をはじめ、県議に同文書コピーを回覧した。要望書は移植後1年になる8歳の男児より手渡された。正式な回答は23日の予定だが担当課長は「反省している。今後はボランティアと協力し合って、県も保健所も変わったと言われるように努力する」と推進を約束した。同様のことが他府県ではないことを願うかたわら、今回のことを決して短絡的にはとらえず、焦点を見誤ることなく、ボランティアだからこそできること、言えることを県内での事業の発展のために生かしたいと思う。

今回の件では、全国の皆さんに励まされ支えられました。この場を借りてお礼申し上げます。これからが本番です!

(福井・井上)

※お問い合わせはスタート出版
 ☎03-3639-4761まで
 (税別1,300円)

(山村詔一郎)

大谷貴子(全国協議会副会長)は本当に幸せ者です。この本を読めばわかります。波乱に富んだ人生を11年間で経験して、そして多くの人と出会い、別れ、新たな出会いで最高の伴侶を得た今、移植10周年を記念して発刊されました。

ドジでメンタルな大谷に、笑ったり泣いたり、決して電車の中では読まないでください。最後の章は東ちづるさんとの対談で締めくくられています。

